

令和6年度

## 総合型選抜Ⅱ期

### 健康科学部 医療科学部

## 課題作文

試験開始までに下記の注意事項をよく読んでください。

#### 試験時の注意事項

- ① 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- ② 開始の合図の後、解答用紙に「氏名」・「受験番号」を記入すること。受験番号は算用数字で記入すること。
- ③ 解答用紙は横書きで記入すること。
- ④ 記述解答で、字数の指定がある問題では、句読点は1字として数えること。
- ⑤ 下書きは、問題用紙の余白または裏面を使用すること。
- ⑥ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- ⑦ 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ること。

次の新聞記事を読み、設問に答えなさい。

2年以上にわたって、新型コロナウイルス感染症のパンデミックが続いています。連日、新規陽性者数が報道され、感染状況や今後の見通しをいろんな専門家が解説しています。感染症の医療が現場の医療者だけでなく、ウイルス学者、ワクチンや治療薬の研究者、製薬企業や保健所、行政など様々な領域の人たちに支えられていることがわかります。

あらゆる医療は医学や薬学だけでなく、理工学や心理学、IT（情報技術）など社会全体の進歩に支えられています。

例えば麻酔の進歩をみると、新しい麻酔関連薬や高機能の生体監視モニターなどの開発が見逃せません。麻酔の深度が脳波の自動解析から数値で示されるようになり、血液に酸素を取り込んでいるかどうかもパルスオキシメーターが教えてくれます。おかげで麻酔の安全性が飛躍的に向上しました。昔、五感に頼って麻酔をしていた頃のハラハラドキドキを最近の若い麻酔科医は知る由もありません。

さらに、医療の進歩に欠かせないものとして多職種によるチーム医療の充実があります。医療が高度化し、複雑化していく中で、医療を安全に効率的に確実に遂行するためには多くの専門職種の連携が不可欠だという認識が高まり、その道のエキスパートを育てる教育施設や資格認定制度が広がりました。

医師や看護師、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師、診療放射線技師、作業療法士、言語聴覚士、臨床工学技士、視能訓練士、栄養士、臨床心理士、ソーシャルワーカー、救急救命士といった専門職の人たちが大切なメンバーとして働いています。これら多職種の連携の輪が良質で健全な医療を発展させています。医療チームのメンバーは医師の良き仲間であり、伴走者であるだけでなく、医師の暴走監視役にもなっています。

この「医療のススメ」は、これら多職種の医療のススメです。医療に進む道は何通りもあります。誰でも医療に進むことが可能ですが、もし一つだけ不可欠な要素を聞かれたら「人間愛」、とりわけ病人や弱者に対する愛とこたえます。

承諾番号 24-0994

出典：外須美夫 「ほか先生の医療のススメ」多様な専門職、人間愛が不可欠

朝日新聞 2022年4月20日 朝刊

設問1 チーム医療とは何か 200字以内で説明しなさい。

設問2 チーム医療にとって大切なことは何か、あなたの考えを 600字以内で書きなさい。

※朝日新聞社に無断で転載することを禁じる。